

「平成 29 年度庄原市議会報告会における行政への意見・要望」に係る対応状況

【庄原地域 庄原地区】

庄原自治振興センターの調理室のガスレンジ⇒ガスコンロが老朽化によりガス漏れの危険があるため、早急に更新してほしい。（担当課に要望はしている。）

（回答）自治定住課

自治振興センターの設備・機器の更新については、老朽化の状況や使用上の支障等により優先順位をつけ、緊急性の高いものから予算の範囲内で対応を行なうこととしています。要望のあったガスコンロについては、平成 29 年度に緊急性が高いと判断し更新を行なっています。

【庄原地域 本村地区】

本村自治振興センター近くの交通信号機に廃止の話が出ていると聞く。高齢者も多く事故の多発が懸念されるので残してほしい。

（回答）建設課

交通信号機は、公安委員会（警察署）が管轄しており、本要望の信号機については、地元の小学校であった本小学校が峰田小学校に統合となり、また交通量も 1 時間あたり 300 台以上の基準を満たしていないため、平成 29 年度に公安委員会撤去したと伺っています。交通安全上、信号機の設置が必要な箇所については、本市としても要望してまいります。

庄原市の避難所には、その施設の防災上の安全性に関係なく指定している施設もあるのではないかと。また、処分される旧学校施設もあるが、昨今、豪雨災害が多発していることを踏まえて、未利用施設を防災用物品の保管場所や、緊急的な避難場所にするなどで、より安心につながると思う。これを検討してほしい。

（回答）危機管理課

本市では、公共的施設等を避難所に指定していますが、その中には土砂災害警戒区域に所在する施設もあります。そのため、災害の種別に応じて適切な避難所を開設することとしています。なお、旧学校施設の内、避難所とすることが適当な施設は指定避難所としており、また、一部の旧学校については、防災用品の保管場所としても利用しています。

【庄原地域 峰田地区】

障害者のリハビリ用医療ロボットの導入を庄原市でもお願いしたい。

（回答）社会福祉課

リハビリ用医療ロボットについては、研究や開発が進んではいるものの、一部の進行性の神経・筋疾患（8疾患）のリハビリに対してのみ医療保険対応となっているにすぎず、導入には、多額の費用とスタッフの確保等が必要といった課題もあります。そのため、市外での導入例はあるものの普及しているとは言えず、市内での導入もありません。現状では、市としてリハビリ用医療ロボットの導入に対しての施設等への助成等は考えていませんが、リハビリ効果のほか医療保険や介護保険等の対象となるかなど、今後の動向を注視していきます。

市の公共施設でシニアカーの充電が出来るようにしてほしい。有料でも充電できれば利用者は大変に助かる。

（回答）高齢者福祉課・管財課・企画課

シニアカーの充電については、高齢者等が積極的に地域コミュニティ等に参加できるように利用者の利便性をふまえた対応を検討します。

田園文化センターなど、市の公共施設の障害者用トイレを暖房便座にしてほしい。

（回答）都市整備課・企画課

公共施設の設備については、時代のニーズに合うよう、順次改修を進めています。障害者用トイレ暖房便座についても新たに設置・改修するものは暖房便座としています。

クリーンキャンペーンなど市の事業で保険をかけていただいているが、補償金額が安すぎるように感じる。しっかりと補償がある保険にしていきたい。

（回答）自治定住課

現在、市が保険料を負担し「公民館総合補償制度」に加入していますが、補償は基本的な最低限のものとしています。行事や活動内容により補償内容を充実する必要がある場合は、個別の対応をお願いします。

【庄原地域 敷信地区】

板橋西原地区では人口が増えているが、子供たちの遊び場がない。高齢者の集いの場にもなる。地域のために広場を作っていただきたい。

（回答）都市整備課

公園を新たに設置するには、敷地面積や地区要件等の条件がありますが、人口一人当たりの公園面積が大きい本市においては、新たな公園や広場を整備することが大変厳しい状況にあります。上野総合公園や中央児童公園、国営備北丘陵公園等、近隣の既存施設を活用していただくようお願いします。

板橋西原地区に西原八幡神社の参道がある。ここから高橋歯科までの道は、現在未舗装で、幅も約 2.5 メートルしかない。これを整備してほしい。

（回答）建設課

道路整備については、生徒・児童等の通学路の確保、緊急車両の通行の可否などの安全性の確保、地域の主要な施設へのアクセス性を向上するための道路網の形成、地元要望や利用状況等の地域熟度等を考慮しながら整備を進めているところです。本要望箇所についても、地元地権者の方の協力が得られれば、道路整備計画への計上を検討してまいります。

個人に入学祝い金を配るよりも、教室が足りないところに充てるなどの使い方があるのではないかと検討してほしい。

（回答）教育総務課

入学祝金は、各学校入学時に祝金を支給することにより入学を祝福し、入学時における経済的負担を軽減することを目的としています。また、各学校の教室については、現状では必要数を確保しており、今後の児童生徒数の推移を考慮しながら、教室が不足する場合は、改修等により対応していきます。入学祝金と施設整備は目的が異なっており、施設面で今後課題があると判断した場合は適切な教育環境となるよう対応していきます。

【庄原地域 東地区】

障害のある方が安心して通院できる児童精神科施設の誘致や A 型支援の整備を検討してほしい。

（回答）社会福祉課

市内に児童専門の医療療育施設はありませんが、圏域の子鹿医療療育センターや市内の精神科診療所、児童サービス事業所、専門機関と連携して、引き続き障害児及び家族への支援に努めていきます。就労継続支援A型の整備については、市内の既存事業所の規模拡大や新規事業所の参入促進等について、障害者支援協議会就労支援部会で協議していきます。また、備北障害者就労・生活支援センターやハローワークと連携し、一般就労への支援も引き続き行っていきます。

【庄原地域 山内地区】

猪や鹿などの有害鳥獣の被害が深刻化してきている。防護柵に補助金を出すより、捕獲し頭数を減らすことが重要である。捕獲奨励金の額を増やしたらどうか。

（回答）商工林業課

市内では、猟友会を中心とした有害鳥獣捕獲班による捕獲と、許可を受けた農家等が、自ら捕獲される自衛捕獲の方法で有害鳥獣の捕獲を実施されており、市は捕獲に係る報奨金を交付しています。

当面、報奨金の増額等は予定していませんが、捕獲後の処分にかかる労力軽減を図るための有害鳥獣処理施設を整備し、食用として利用が可能な肉については、捕獲者から購入してジビエやペットフードの材料として販売しており、市としても捕獲促進のための対策を講じています。

放置家屋の草刈り等の環境保全を行政としてできないか検討してほしい。イタチなどの動物のすみかになっている。

（回答）都市整備課

空き家対策については、本市としても平成28年3月に「空き家等対策計画」を策定し、関係各課において危険な空き家の除去、空き家の利活用等それぞれの対策を進めているところです。空き家は、その敷地も含め個人が所有される財産でありますので、草刈等の保全についても、まずは所有者を特定し所有者の方に適正に管理して頂くようお願いしてまいります。

田園文化センター（図書室）の閲覧スペースを広くしてほしい。また、新しい図書館の建て替えを検討してほしい。

（回答）生涯学習課

1階図書館内には、蔵書の配架もあり、今以上の閲覧スペースを造るのは困難な状況にあります。そのため、学校の夏休み期間中には、2階ロビーに15席程度の学習スペースを設置し、活用いただいています。現時点で施設の建替え予定はありませんが、今後も市民が利用しやすい環境整備に取り組んでいきます。

【庄原地域 北地区】

超高速情報通信網整備事業の住民告知端末の設置については、住民によく理解されていない部分がある。わかりやすく整理して周知すべきだ。

（回答）行政管理課

住民告知端末の設置については、自治振興区と連携を図り、各自治会での説明会に加え、広報紙への定期掲載等により周知に努めています。北自治振興区では、加入率が他地域より低いといった状況もあり、振興区との協議も行ってはいますが、改めてわかりにくい点等を確認し、住民告知端末設置の必要性をご理解いただけるよう努めていきます。

【西城地域 西城地区】

自主防災の取り組みでは、広島市のように防災士の研修などを行ってほしい。

（回答）危機管理課

防災士の養成研修は、日本防災士機構が認証した研修機関が実施しており、県内では主に広島市で開催しています。この研修は50人以上の受講者が必要なため、現在は市内での開催を計画していませんが、今後要望の状況に応じて、開催も検討していきます。また、この研修の受講料は1人当たり約6万円が必要ですが、自主防災組織が定める防災計画に、防災知識の向上を目的とする研修会への参加を記載している場合、最大4万2千円を補助する制度を設けているので、広島市での受講に参加する場合は相談してください。

西城の小中学校にはプールがない。水夢があるためだと思うが、特に夏季休業中に児童生徒が水泳をする機会をしっかりと確保してもらいたい。

（回答）西城支所・生涯学習課

西城地域では、従来より学校プールはなく、各学校は町営プールを利用して水泳指導を行ってきました。平成10年に西城温水プール「水夢」を開設して年間を通して水泳のできる環境となり、（現在は11月～1月プール室休場）各種水泳教室等も行われています。また、夏季休業中については、小中学生は無料としています。

【東城地域 小奴可地区】

行政文書について、隣家が遠く、かなり高齢化が進んでいるなどで、届けるのが困難になっているところがある。行政文書は月1回にしてほしい。

(回答) 総務課

行政文書については、効率よく経済的に配布できる方法として、各自治会長等のご理解をいただく中で、月2回の回覧や配布をお願いしています。月1回にすると、最新の情報を届けることが出来なくなることや、情報量が増え、内容の周知が難しくなることなどが想定されるため、引き続き月2回の配布について、ご理解をお願いします。

JR芸備線のダイヤでは便利が悪い。広島へもバスの方が便利である。また、駅まで行くのが困難な人が多い。10月から開始される芸備線対策会議では、そうした地域の状況・課題も含めて議論してほしい。

(回答) 市民生活課

平成29年10月に設置し、協議を開始した「芸備線の存続に関する協議会」は、芸備線の存続と利用促進に関する調査研究などを目的としています。今後も、芸備線にかかる地域の実情や利用状況などの諸課題を調査研究し、利用促進策を検討していきます。

市民タクシー制度は、自治振興区（地元）に大変な事務がかかっている。タクシー券にしてはどうか検討してほしい。

(回答) 市民生活課

市民タクシー事業は国からの財政支援を受け、市民の皆さんの参画と協力を得て実施しています。そのため、この事業を終了し、タクシー券交付事業に移行することについては、慎重な検討が必要と考えております。なお、市民タクシー事業の事務改善を含め、引き続き時代に応じた外出支援策について検討していきます。

小奴可と内堀の診療所が5月末で閉鎖となった。無医地区となるので、医療バスの運行を考えてほしい。

(回答) 保健医療課

小奴可と内堀の診療所が閉鎖となったため、西城市民病院と協議し、移動診療車の対応を行っています（平成29年9月6日開始。毎週水曜日）。

【東城地域 八幡地区】

地域包括ケアシステムの対策は、短期・中期・長期の取り組み見通しや、成果や課題を市民に周知してもらいたい。また個人の努力目標も示して成果をあげるべきだ。取り組みへの男性参加が少ないので工夫して参加を促すようにしてほしい。

(回答) 高齢者福祉課

平成 30 年 3 月に「第 7 期庄原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定する中で、第 6 期計画の評価等を実施し、今後、取り組むべき課題・方向性を整理しており、必要に応じて、出前トーク等で周知することとしています。また、この計画の中で、基本政策の一つとして「健康寿命の延伸」を設定し、介護予防を推進するため、効果的な介護予防事業に取り組むこととしています。介護予防の取組への参加が少ない男性については、男性に特化した介護予防教室を実施し、男性の参加を促進することとしています。

農業振興策について、頑張る個人農家や 65 才以上の定年就農農家を支援する施策をすべきと思う。小農対策は、健康づくり・生きがいに効果が大きいことに着目して推進をしてほしい。

(回答) 農業振興課

現在、国・県の小規模農業者への支援制度はありませんが、市独自で、園芸に限定した機械・施設の経費に対する補助事業を設けています。

また、市営農指導員による栽培技術や市内産直市等販売路の支援等を行い、小規模農業者の所得及び活力向上に取り組んでいます。

売り場が手狭な産直市の、きんさい市と、別棟の道の駅、遊 YOU さろん東城は売り場が離れている。お客さんの動線も途切れている。地域農産物の買い物をしやすくするような、利便性・魅力向上対策を検討して実施してほしい。

(回答) 東城支所

第 2 期庄原市長期総合計画・前期実施計画において、平成 31、32 年度に遊 YOU さろん東城の屋外トイレの改修を行う計画としています。また、平成 29 年度の 1 年間にわたり施設の来客者を対象とした対面方式によるアンケート調査を実施したところです。今後は調査結果を分析するとともに、道の駅の機能も含め、来客者のニーズに期待できる施設とするよう検討します。

支所職員が減少する状況で、行政から各自治振興区への要請が強まり事務対応に苦慮している。これ以上の業務拡大には、人的・予算的措置がないと対応が難しいので改善してもらいたい。

(回答) 自治定住課

新たな行政需要に対応する場合で、協働という観点から自治振興区に一定の役割を担っていただく必要が生じるときは、必要な措置について検討を行いません。

【東城地域 田森地区】

ニュー東城の経営が、温泉施設のやりくりなどにより、5年前くらいからかなり厳しくなっている。人件費積算など、他の指定管理施設と比べて良くないと感じるので、是正をお願いしたい。

(回答) 東城支所・管財課

(株)ニュー東城は、市の出資比率 51%の第三セクターで、リフレッシュハウス東城のほか、東城中央運動公園、遊 YOU さろん東城の指定管理者となっています。

当該3施設は、「指名」により指定管理者を決定していますので、指定管理料(委託料)は、施設の種別に応じた市の基準・査定に基づいて算出・認定しています。

このうち、ご要望の趣旨からリフレッシュハウス東城に限定してお答えします。

この施設は、利用料金(入浴料ほか)を指定管理者の収入としているため、必要経費から当該利用料金を控除した額が指定管理料となります。

収入とする利用料金及び必要経費は、市で設定した基準等を適用することとなりますが、利用料金の額は、利用者の増加に向けた指定管理者の努力を促す観点から、過去3年間の平均額に1.05を乗じた額と、過去3年間で最も高かった額のいずれか高い額を基準としています。

また、必要経費のうち人件費は、職種、職務内容及び必要人数などに関して基準を設けており、その他の経費については、過去3年間の平均額を原則として査定し、その範囲内で認定しています。(燃料費と修繕料は、実績に応じて精算します。)

なお、指定管理料の算定方式については、市の財政運営を含めて、今後見直しを検討することとしています。

東城温泉の空地を利用して地域包括ケアや観光振興、定住振興などの拠点にもなるように整備をしてほしい。

(回答) 東城支所・保健医療課

既存公共施設の取り扱いに関しては、平成28年3月に策定した「庄原市公共施設等総合管理計画」に基づき、平成30年度に「今後のあり方を考えるための施設評価」を行うこととしています。

リフレッシュハウス東城に新たな機能を付与する旨のご要望ですが、そのためには、この「施設評価」において、「継続及び改善(長寿命化)が適当」との方向性を導くことが前提となります。

田森自治振興区及び指定管理者からも「リフレッシュハウス東城の大規模改修等に関する要望書」が提出されており、支所において、実態調査、聞き取りなどを行っております。

今後、大規模改修の必要性や規模・内容、事業費のほか、利用者の推移と今後の見込み、維持管理費など、多様な視点をもって「あり方」を検討してまいります。

米の価格は下がり資材価格は高く、農業経営は大変厳しい状況にあるが、その中で、市のがんばる農業支援事業補助金や担い手育成の補助金など申請が難しく活用しにくい。またすぐに予算がなくなってしまう傾向にあると思う。少し遅くなれば予算がなくなってしまう現状を予算拡充で打破してほしい。

(回答) 農業振興課

申請書類の作成については、本所、支所それぞれ申請者に作成支援しており、がんばる農業支援事業については添付書類もできるだけ簡素化し、個別の相談にも応じる等対応します。

補助金については、補助率等を下げることにより、できるだけ多くの申請者を支援できるよう取り組んでいます。

【東城地域 東城地区】

障害者や高齢者が利用できる市内のリハビリ施設の情報を提供してもらいたい。障害者の雇用については、雇用する側や同僚の理解をより深めるような取り組みをお願いしたい。また、割引制度が利用できる施設等の案内を積極的にしてほしい。

(回答) 社会福祉課

市内のリハビリ施設については、介護保険や障害者サービスのハンドブック等での情報提供に努めています。障害者雇用については、障害者理解促進のための講演会や広報等の充実、各種関係団体や事業所等と連携し、啓発事業の充実に努め、市民の一層の意識向上に取り組んでいきます。

割引制度の利用については、市の施設について、ハンドブック等へ掲載していきます。

【東城地域 帝釈地区】

集団健診や人間ドックについて、75歳以上の市民にも助成していただきたい。

(回答) 保健医療課

現在、集団健診の費用は、75歳以上の方を含め、受診者全員を対象として3分の2を基本に助成を行っています。また、人間ドックの費用につきましては、国民健康保険に加入されている75歳未満の方のみを対象とした57%程度の助成とし

ています。人間ドックについては、受け入れ機関や人数に制約があるほか、75歳以上の方は、かかりつけ医などで一般受診をされている割合も高いことから、助成対象から除いております。ご理解をお願いします。

市では地域包括ケアシステムなど色々とやっけていただいている。自治振興区も小地域サロンや見守りの声掛けなどできることは積極的に行っている。自治振興区への補助金の削減にならないようお願いしたい。

(回答) 自治定住課

自治振興区振興交付金については、今年度も昨年度と同様に予算措置を行っています。しかしながら、「第2期持続可能な財政運営プラン」で見直しの対象としており、平成31年度算定から見直すよう考えています。ご理解をお願いします。

市が養成をされているシルバーリハビリ体操指導員が指導にあたる際の、特に遠隔地への交通費などを検討していただきたい。

(回答) 高齢者福祉課

平成30年3月に設立された「庄原市シルバーリハビリ体操指導士会」に対し、平成30年度から交付する活動補助金により対応してもらうこととしています。

【東城地域 新坂地区】

休暇村帝釈峡から三坂駐車場へ行く遊歩道が通行止めになっている。地元へは何の説明もないが、なぜ通行止めになっているのか教えてほしい。できれば、通れるようにしてほしい。

(回答) 東城支所

遊歩道の一部で落石が発生したため、平成26年4月から通行止めとなっています。早期開通に向け管理者である広島県に引き続き、要望していきます。

帝釈峡の観光に力を入れてほしい。もう手遅れかもしれないが、帝釈峡を観光地として復活してほしい。特に樹木が老木化してきており、帝釈峡の環境を保全するには若返りを図る必要がある。国定公園なので難しいかもしれないが、若木を植えるような取り組みができないか。また、神龍湖の水質が悪くなっている。対策を早急に考えてほしい。

(回答) 東城支所

帝釈峡は、自然公園法や文化財保護法等による規制があるため、若木への植え替えについては難しい状況です。神龍湖の水質については、中国電力が立ち上げた、学識経験者を中心とした水質改善対策検討会において、取組みを進められています。引き続き、関係省庁や関係機関との協議や要望活動等を通じて、観光地の復活に向けた取組みを推進していく必要があると考えています。また、平成

29 年度に庄原市、神石高原町及び地元関係者により「帝釈峡いちばん愛する会」を設立し、国定公園帝釈峡の環境改善に向けた取組みを始めたところです。

【東城地域 久代地区】

きんさい市（農産物の産直市）と遊 YOU さろん東城（道の駅）は別々の建物になっていて非常に効率が悪い。来訪者が立ち寄りやすいように一つにまとめるとか、トイレをはじめ施設全体の大規模改修を望む。このことで庄原市の周辺部を含めた全体的な活性化や生産者の意欲向上につながることを願う。

（回答）東城支所

第 2 期庄原市長期総合計画・前期実施計画において、平成 31、32 年度に遊 YOU さろん東城の屋外トイレの改修を行う計画としています。また、平成 29 年度の 1 年間にわたり施設の来客者を対象とした対面方式によるアンケート調査を実施したところです。今後は調査結果を分析するとともに、道の駅の機能も含め、来客者のニーズに期待できる施設とするよう検討します。

【高野地域 高野地区】

アクセスなども考えると中門田地区は住宅地となる可能性も秘めている重要な地域だが、水がないため定住を推進できない。新市から道の駅たかのに給水管が伸びている。すぐ近くだが給水地域外だ。接続して中門田地区の飲料水の確保により定住促進をお願いしたい。

（回答）高野支所

中門田地区の県道三次高野線内に埋設してある水道管については新市から下門田浄水場への送水管であり、この管から給水を行えば下門田地区への安定送水に支障をきたすおそれがあるため、この管からの給水はできません。中門田地区へ給水を行うためには、給水区域に指定し、下門田配水池から中門田地区へ配水管の埋設、及び水需要に応じて必要な施設等の整備を行う必要があります。

平成 30 年度、水道に関する高野地域全般の調査業務を予定しており、中門田地区を含め、全体の課題を整理し、今後の方針を検討する予定です。

高野 IC で降りる価値がなければ、その先は何も続かないと思う。道の駅たかの（株式会社緑の村）には、市長と副市長で 3 人の役員が入っておられる。道の駅を大切にして、いざなみ街道の高野から東城まで観光面など、どうすればよいか考えてほしい。

（回答）観光振興課

「道の駅」は道路利用者の通過点にとどまらず、目的地としてまた地域の玄関口として地域振興にも寄与する施設です。「道の駅たかの」はその役割を果たす本市にとって重要な施設であり、逸品づくり事業で特産品・グルメ開発などを支援するとともに、広告等でその魅力を広く発信しています。

いざなみ街道については、観光関係者で構成する「庄原観光いちばん協議会」比婆いざなみ部会において、街道沿線の資源を活用した事業支援、広報及びマラニック大会の開催などを通して、観光振興を図っていきます。

外国から遺伝子組み換え食品等が入ってくるが、市は地産地消の取り組みを強力に進めてほしい。

(回答) 農業振興課

遺伝子組み換え食品は、その原料が遺伝子組み換え作物で、現在日本では栽培されていませんが、安全が確認された、大豆、じゃがいも等の8作物の販売・流通が認められており、それらを輸入し、主に加工品が販売されている現状があります。

国においては、安全性の確認がされていない遺伝子組み換え食品が市場に出回らないように、輸入時の検査が厳しく行なわれています。

本市においては、消費者からニーズがある、「安全・安心」な農産物の生産、流通を進めており、併せて、地産地消の取り組みを進めています。

これらの流通の手段として、市内の産直市、学校給食での地元産農産物の使用、地産地消推進店の普及啓発を引き続き進め、特に「道の駅たかの」の農産物販売額は順調に推移しており、今後も生産者の維持・拡大について支援していきます。

【比和地域 比和地区】

田の平トンネルでは冬に点検や工事をしている。近くの路面の凍結もあり、通行に危険があると思う。市とは関係ないかもしれないが、国や県に他の時期にできないか要望してほしい。

(回答) 建設課

本要望のトンネルについては、広島県が管理されており、県としての点検計画や修繕計画の基で実施されていると伺っています。しかしながら、ご要望にあるように冬季には路面の凍結も発生し、交通事故に繋がる危険性もあることから、本市としても冬季以外に点検や工事が実施されるよう広島県に対し要望してまいります。

農業の担い手が不足するなか、国は農業を守るために認定農業者主体の施策に取り組んでいる。認定農業者には5年の計画と、5年後には450万円の農業所得があることが条件にある。これは米だけでは大変であり認定基準の緩和をお願いしたい。

(回答) 農業振興課

庄原市の農業、農地を守っていくため、認定農業者には地域の中心的担い手となり、農業で生計を立て、若者が憧れるめざしたい職業となるよう位置付けたい思いがあります。

確かに米の生産販売だけでの目標所得の達成は厳しいことから、他の園芸作物の生産販売等によることも視野に入れていただきたいと考えています。

【総領地域 総領地区】

総領町で~~天然遡上あゆ~~⇒陸封あゆの中間育成施設を整備し基幹産業としたいので検討いただきたい。

(回答) 総領支所

関係する漁協から、提案があった段階で、漁協と連携し基幹産業として成り立つか等総合的観点から検討します。

総領地域から長年の要望である一般県道中領家庄原線の早期完成を目指してほしい。

(回答) 建設課

本要望路線については、県の道路整備計画に掲載されており、計画的に事業を実施されています。市としては、これまでも県に対し、早期整備について要望活動を行っており、今後も継続して強く要望してまいります。

農業振興施策の庄原市ががんばる農業支援事業について、この事務手続きを簡素化できないか。具体的には、例えば100万円を超えるような経費の額が大きいものについては、領収書を提出し補助金を受け取るのではなく、見積書の提出とし、支払いより先に補助金を受け取るような手続きにすることはできないか。

(回答) 農業振興課

がんばる農業支援事業については、申請時に見積書を添付し、審査したうえで補助金額を決定していますが、事業完了後は見積額ではなく、領収書等で事業費を確認したうえで補助金額を確定しています。

したがって、見積書での補助金の支払いはできませんが、概算払等で事前に補助金の交付ができないか検討しています。